

令和5年12月定例会

令和5年12月18日

本会議（最終日）市長冒頭発言

本日の議事に入ります前に、貴重なお時間をお借りしまして御報告を申し上げます。

まず、ハタハタ漁の状況について申し上げます。

今季の沿岸季節ハタハタ漁は、昨年より 3 日遅い今月 9 日に北浦地区などで初水揚げがありました
が、昨日までの漁獲量は 4.1 トンで、昨年同期と比較しても 40 パーセントと激減しております。

また、雌のハタハタには産卵が終わった魚体も見受けられ、関係機関では、近年の海水温上昇など海
洋環境の変化が影響していると見ております。

ハタハタ漁はこれから終盤を迎え、今後の水揚げに期待しているところではありますが、このまま推移
しますと、今季の漁獲量は、沖合・沿岸ともに禁漁明けの平成 7 年以降で最少となることが見込まれま
す。

早期の資源回復が見通せない状況の中で、市としましては、最近漁獲が増えているアマダイなど暖水
系の魚を加えた複合魚種への転換促進や蓄養殖漁業の確立を急ぎ、ハタハタに依存しない経営の確立を
後押ししてまいります。

次に、東日本中学校ラグビー大会の優勝についてであります。

今月 2 日、3 日、東京都で行われた第 43 回東日本中学校ラグビーフットボール大会において、男鹿
東中学校・男鹿南中学校を中心とした合同チームが見事優勝を果たしました。男鹿市の中学校の優勝は、

昭和 63 年以来、実に 35 年ぶりの快挙であります。

準決勝は茨城県代表の茗溪学園中学校に 36 対 17 で快勝し、決勝戦では神奈川県代表の関東学院六浦中学校を 17 対 10 で退け、強豪校を撃破しての優勝であります。

体格の大きな相手にも臆することなく向かっていく粘り強い守備など、これまでの練習の成果を遺憾なく発揮し、チーム一丸となって勝ち取った優勝は、男鹿市民に大きな喜びをもたらしてくれました。

選手の皆様には、この貴重な経験を糧に、それぞれの夢や目標に向かって歩いていくことを期待いたします。

次に、観光地再生に向けた観光庁の補助事業の採択について申し上げます。

これまで、男鹿観光の玄関口である男鹿駅周辺は、なまはげ文化を感じさせるコンテンツが少ないことや、周辺に宿泊施設が無いといった課題を抱えておりました。

このたび採択された計画は、その解決に向けて、宿泊・観光に携わる市内の 10 の事業者が取り組む施設の改修整備など、総額約 14 億円規模の個別事業を市が地域計画として取りまとめ、国に申請していたものであります。

計画の中心エリアとして位置付けている船川地区は、オガーレや駅周辺広場の整備以降、まちの変化が顕著になってきており、こうした動きがさらに加速するとともに、北部地区や西海岸の宿泊機能の充実が図られるものと期待しております。

このたびの事業を契機として、なまはげ文化に触れる施設やコンテンツの整備、周遊ルートの開発・強化、滞在時間の延伸などに一層努め、官民一体となって男鹿観光の魅力向上を図ってまいります。

次に、温浴施設の譲渡先候補者の選定について申し上げます。

譲渡に向け公募を実施しておりました温浴施設のうち、「夕陽温泉 WAO」については、先日、蓬田議員の一般質問にお答えするかたちで、2つの事業の提案があったこと、先月27日の「プロポーザル選定委員会」で継続審査としたことを御報告したところであります。

その後、数回にわたり事業者ヒアリングを実施し、持続可能性等について審査した結果、WAOの敷地と設備を活用して陸上養殖事業を行う東日本電信電話株式会社秋田支店、コテージを活用して宿泊事業を行う能代市の総合建設業 Kivana（キバナ）株式会社の2事業者を譲渡先候補者として選定いたしました。

今後、新たな形態で地域振興が図られるよう、譲渡の仮契約締結に向け候補者と具体的な協議を行ってまいります。

次に、男鹿市沖における洋上風力発電事業者の選定についてであります。

再エネ海域利用法に基づく全国4海域の発電事業者の選定手続、いわゆる「第2ラウンド」について、この度、国から選定事業者が公表され、「男鹿市、潟上市及び秋田市沖」については、株式会社

JERA（ジェラ）、電源開発株式会社、伊藤忠商事株式会社、東北電力株式会社で構成されるコンソーシアムが選定されました。

その計画の概要は、出力1万5,000キロワットの風車21基を設置し、合計出力が31万5,000キロワット、運転開始は令和10年6月末の予定となっております。

選定された事業者には、2050年カーボンニュートラルの実現への貢献はもとより、地域との共生の取組を通じて、本市の発展に寄与することを期待しております。

また、このたびの設置海域は船川港に最も近接しており、風車の建設やメンテナンスに港湾の活用が期待できることから、船川港の機能強化に向けた取組を一層加速するよう、県・国への働きかけを強化してまいります。